

提案者	北海道ニセコ町、特定非営利活動法人ニセコ倉庫邑、株式会社メディアマジック、有限会社エスピーボックス、長野県塩尻市、北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会		
モデル類型	類型 A	事業費	35,238千円
実施地域	北海道ニセコ町	移動人数	10人以上
事業概要	ニセコ駅前の倉庫(ニセコ中央倉庫群)を改修し、地域コミュニティの拠点形成を進めており、外国人にも利用出来る、グローバルな「ふるさとテレワーク拠点」の整備を行い、ワークスタイル、ライフスタイルのイノベーションを創造するテレワークの仕組みを構築する。		



サテライトオフィス整備による人口増(都市部社員の移住)と地元雇用創出

都市部から地方への人と仕事の誘致を促進し、地元での事業と地域ブランドの連携による新規事業、雇用の創出を図ります。

快適なテレワークセンター整備による観光振興(インバウンド増、滞在期間長期化、地元消費増など)

快適な環境整備により、「しごと」と「ニセコに住み続けたい」という潜在的な需要を融合させることで、新たなニセコスタイルを創造します。

テレワーク拠点における地元住民と外国人観光客の交流促進によるワークスタイルやライフスタイルのイノベーション創造

テレワーク拠点を利用したイベント、コミュニティ環境を提供し、地域との交流の機会を支援します。また対日直接投資を推進する「国際観光リゾート創造事業」の拠点としても活用します。

多様なワークスタイルを実現し、企業の生産性向上とコスト低減
テレワークによる通勤時間の短縮が可能となり、時間と経費等生産性の向上が図れます。あわせて企業として、自然災害、流行ウイルス等のリスクの脅威からの事業継続性(BCP)を見込めます。